令和6年度 自己評価書

学校名	和歌山市立貴志小学校
校長氏名	沖平 渉
作成日	令和7年3月7日

1 教育目標

自ら考え、正しく判断し、進んで実践する力を身につけた人間性豊かな貴志の子供の育成をめざす。

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> 県学習到達度調査で基本問題の正答率が県平均を上回る。 毎日の勉強が分かる(児童80%以上) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が楽しい(児童80%以上) 図書の本を借りる(児童100%) いじめの解消(児童100%) 情報モラル授業を実施する 朝の挨拶ができる(児童100%) 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を整え、感染症予防に留意する。 体力の向上を目指し、縄跳びカード等、学習カードを用いて取り組む。 休み時間は外遊びを積極的に行う。 朝ごはんを食べる(100%) 交通安全教室や避難訓練を実施し、児童の安心安全に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育活動や子供の様子がよく伝わった(保護者90%) 地域の人材を活用する 他校と連携して研究授業を行う。 中学校区における学校間の連携推進
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の確かな定着 「わかる授業」のための子供主体の授業づくり 家庭学習の定着 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳・人権教育の充実 いじめの未然防止、早期発見 読書活動の推進 あいさつ運動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上の推進 基本的な生活習慣の確立 安全教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭・地域との連携充実 中学校区における学校間連携の推進 地域の人材及び資源の活用
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> 学校独自の基礎学力テストを実施し、基礎学力定着を目指し、「のびっこタイム」や「取り出し授業」、「放課後ののびっこタイム」で個別指導を行った。 研究授業を一人一授業行い、教員全員で「わかる授業」「子供主体の授業」について、指導方法・学習形態について話し合いを重ねた。 ICTを積極活用し、わかりやすく、楽しい授業をめざし実践を重ねた。 保護者と協力しながら家庭学習の定着を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合単元的な道徳の授業を研究の柱とし、人権教育の視点からみた実践を行った。また、人権標語づくりに学期ごとに取り組み、児童の心に人権を守る意識を育てる取組をした。 毎朝の挨拶運動に取り組んだ。 昼休みの図書室の開放や読書タイムや図書の時間を活用し、読書活動に取り組んだ。 日頃からアンテナを高めていじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、いじめアンケートを実施し実態把握及び未然防止に努めた。また、いじめを許さない県警のモラル授業や4年生に人権にかかわる出前授業を行った。11月には人権教育に関わる授業参観を行った。 4・5・6年生対象に少年センター指導主事を講師に情報モラル授業を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画のもとで、楽しい体育学習に取り組んだ。 休み時間に中庭にできるだけ運動場等で外遊びできるように推奨した。また、冬季は縄跳びボードを置いて取り組ませた。 チャレンジランニングや朝の休み時間には、縄跳びに挑戦する子供や学級が増えてきた。 「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨した。また、生活指導部を中心に、基本的な生活習慣の確立を目指し、児童や保護者に啓発の取組を進めた。 交通安全教室や避難訓練を計画的に実施し、危機対応能力を養う取組を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校便り、学級便り、保健便り、下校時刻予定表、ホームページ等を通して学校の様子や取組を掲載し、保護者や地域に情報発信した。 授業参観では、授業内容やねらいについて明記し、わかりやすい授業公開に努めた。 地域の方々にごステイチャーや、図書及び読み聞かせボランティアに来ていただいた。 近隣の松江小と連合で現職教育を行い、授業研究を行なった。中学校区で集まり、子供たちの様子や人権教育について情報交換したりして連携を図っている。 地域の人へありがとう集会を開き、学年ごとに合唱や合奏を披露し、見守り隊等、平素よりお世話になっている方々へ感謝の気持ちを届けた。
取組の成果と課題(評価結果)	<ul style="list-style-type: none"> 特に算数科の取り出し授業を中心に、基礎学力向上に努めることができた。 「討論を中心とした道徳」の授業を目標として実践を進めた結果、子供たちが進んで自分たちの意見を出し合い、話し合えることができるようになってきている。 全国学力・学習状況調査では、全国平均を上回った。県到達度調査では、5年生が県とほぼ同様であったが、4年生が県平均を下回っていた。 タブレットドリルを朝学で使ったり、調べ学習をしたり、自分の考えをまとめるのに活用したりと、ICT端末を積極的に活用することができた。 低学年の88%・中学年の74%、高学年の85%が毎日の学習が分かるかと肯定的に答えている。低・高学年は85%を超えているが、中学年については、数値が低く、今後の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 低学年99%、中学年93%、高学年96%が学校は楽しいと回答している。 人権教育の視点も大事にし、道徳の授業を充実させた。 児童会も校門の内側であいさつ運動に取り組む。教員も登下校指導等に取り組んで、気持ちの良い挨拶ができるよう努めた。 いじめアンケートを実施するとともに、日ごろの見守りといじめ・不登校委員会を定期的に関し、児童の実態把握に努めているのでいじめは100%解消している。今後も一過性の指導に終わらず、継続して、校内で連携し見守り指導していく。 情報モラルや児童理解について外部講師を招いて学習する授業を行った。 読書活動の充実に関わる活動ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画のもとで、引き続き体育学習の充実を意識して取り組む。できるだけ外遊びを推奨する。 チャレンジランニングや朝の休み時間には、縄跳びに挑戦する子供や学級が増えてきた。更に、自主的に楽しんで体力づくりに取り組める子供たちにした。 早寝朝起き朝ごはんの取組を保護者を啓発して引き続き、進めていく必要がある。 安全教育のための避難訓練は例年通り実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域の皆さんの協力を得て、多方面から本校教育を支えていただいた。(地域の方々による見守り活動、挨拶運動、図書ボランティア等) 近隣校との連合現職教育は、教職員の教育力向上のため、今後とも継続して行いたい。 コロナ禍からひと段落したので、地域の皆さんにさらに本校教育のために、ご協力をお願いしていきたい。情報発信も充実させていきたい。
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力向上のため、教員の授業力をさらに高める取り組みを行う。 個別指導を充実させ、個に応じた指導に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業の充実やいじめを未然防止、早期発見等するための取組、情報モラル教育、読書活動で心を豊かにするなど、充実した学級経営等、人権感覚や規範意識を向上させるための取組を引き続き行い、充実させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間教育計画を意識し、児童の体力向上に係る取り組みをしていく。 生活習慣調べ等を実施して児童の実態を把握し、保護者の協力を求めながら基本的な生活習慣を確立させる。 安全教育については、前年度の反省を生かした交通安全教室や避難計画を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域・保護者・学校が互いに理解を深め、連携できるように、情報発信や交流の在り方を工夫し、地域とともにある学校をめざしていく。

3 その他の課題

- 学力向上の取組に少しずつ成果が感じられるので、確かな学力の向上に向けてさらに取り組んでいきたい。
- 児童の育ちにつながるよう地域や保護者の力を積極的に活用できるような取り組みを計画していきたい。
- 校内研修をより一層充実させるとともに、教師の授業改善及び指導力の向上を目指した取組を継続していきたい。
- 情報モラル教室等、ICT(パソコン、スマホ等の情報機器)に関わる教育及び啓発をさらに進めていきたい。